

ふじみだい

関わり合って学ぶ

校長 和田 みずほ

門のそばのつつじが咲き始めました。木々の若葉がまぶしく光っています。新学年がスタートして1か月が過ぎようとしています。朝、門で待っていると「おはようございます。」と元気な声をかけられたり、少しはにかんだような笑顔を向けられたりします。

令和5年度も「豊かな関わりの中で、ともに高め合い、未来をひらく富士見台」を教育目標として掲げています。

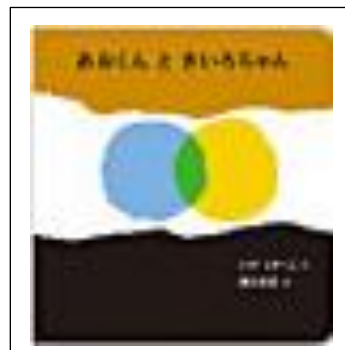
4月20日と21日に、今年度初めての授業参観、懇談会を行いました。お忙しいところ学校に足を運んでいただきました保護者の皆様、ありがとうございました。2年前には考えられなかった子どもたちが意見を交換するという学習活動があちこちの教室で展開されました。自分の考えを伝えようと言葉を探す姿、友達の発表に聞き入る姿、拍手を送る姿、考えと考えをつないで物語を書く姿など、子どもたちは一生懸命関わり合って学んでいました。

6年生のあるクラスには『学校はまちがうところだ』の本が飾ってありました。

まちがうことをおそれちゃいけない
まちがったものをわらっちゃいけない
まちがった意見をまちがった答えを
ああじゃないか こうじゃないかと
みんなで出しあい言いやうなかで
ほんとのものを見つけていくのだ
そうして みんなで 伸びていくのだ



蒔田 晋治作 『教室はまちがうところだ』
子どもの未来社 4ページより引用



レオ・レオーニ作
『あおくんときいろちゃん』至光社

学校は、それぞれの家庭で育ち、それぞれの家庭のものの見方考え方をもつ子どもが、他の家庭で育った子どもと出会い、自分とは違うものの見方考え方を知る場です。そして、互いに認め合うことで別の価値に気付くこともあるでしょうし、『あおくんときいろちゃん』のように緑という新しい価値を作り出すこともできるでしょう。そんな思いを込めて、入学式で1年生にレオ・レオーニの『あおくんときいろちゃん』のお話をしました。1年生には難しいと思いましたが、保護者の方々にお話しした「学校は、関わり合って新しい自分になるところです。」ということ、いつかこの本にもう一度出合ったときに、思い出してくれればと思います。

関わり合うことで、新しい価値観に出会い、互いに認め合い、尊重し合う素晴らしさを感じ、朝登校したときとは少し違う、成長した自分になる時間を過ごしてほしいと願って5つの種(知・徳・体・公・開)をまいていきます。